

森林生態系の管理目標に関する現状把握・ 評価について (令和5年度の実施結果)

目次

1. 令和5年度の実施内容.....	1
①屋久島の多雨環境を反映したシダ植物の林床被覆の回復	2
②屋久島世界自然遺産の顕著な普遍的価値である植生垂直分布を形成する植物種の多様性の回復	7
③ヤクシカの嗜好性植物種の更新	12
④絶滅のおそれのある固有植物種等の保全	13
2. 今後の取組予定.....	17

林野庁 九州森林管理局

1. 令和5年度の実施内容

本年度は、表1の森林生態系の管理目標のうち、①の目標については植生保護柵6箇所にて現地調査を実施し、現状把握及び評価を行った。②～④の目標については「屋久島世界遺産地域モニタリング計画」等により関係機関が実施した各種調査結果等をベースに現状把握及び評価を行った。

表 1 森林生態系の管理目標と令和5年度の現状評価の実施地域

森林生態系の管理目標	現状把握・評価予定地域
①屋久島の多雨環境を反映したシダ植物の林床被覆の回復	植生保護柵6箇所(図 1) (カンカケ 300m、カンカケ 550m、波砂岳 48 ち 2、ハサ嶽 69 い 5、愛子 200m、中間 5)
②屋久島世界自然遺産の顕著な普遍的価値である植生垂直分布を形成する植物種の多様性の回復	モニタリング計画による南部地域の植生垂直分布調査実施箇所(図 2) (200～1600m の各調査プロット)
③ヤクシカの嗜好性植物種の更新	
④絶滅のおそれのある固有植物種等の保全	モニタリング計画による本年度実施の国内希少種等の調査地域(モニタリングサイト)(資料 3-④参照)

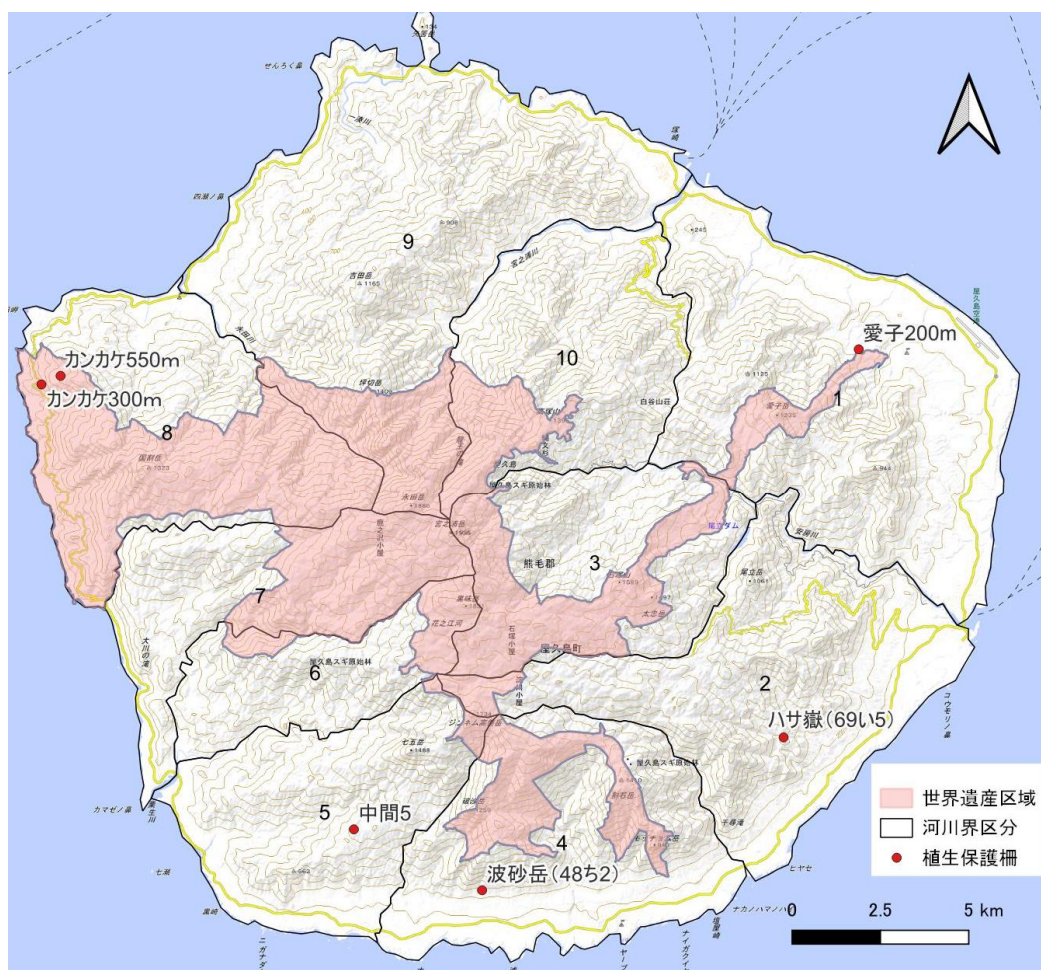


図 1 植生保護柵調査予定箇所（赤色プロット部分）



図 2 現状評価を実施する屋久島南部地域の植生垂直分布調査実施箇所（赤色プロット部分）

①屋久島の多雨環境を反映したシダ植物の林床被覆の回復

評価指標：シダ植物の林床被覆

評価基準：植生保護柵外のシダ植物の被覆率を柵内の 50%を目安として回復させる。

把握方法：植生保護柵内外の植生調査においてシダ植物の被覆率（%）を記録し、柵内外の違いを定量的に比較する。

本年度は、図 1 の植生保護柵 6 箇所で行地調査を実施し、草本層において確認された各シダ植物種の柵内外の被覆率の違いを比較して現状把握及び現状評価を行った。

なお柵内・柵外にそれぞれ調査プロットが複数あるが、柵内・柵外で同一種が複数プロット確認された場合にはそれぞれの最大被覆率同士を比較した。

なお、2018 年度以前の調査結果についてはブラウン・ブランケの被度区分で記録されているため、便宜的に各区分の最大値をとり、被度 5→100%、被度 4→75%、被度 3→50%、被度 2→25%、被度 1→10%、被度+→1%と換算した。

保護柵設置箇所別の調査結果は次のとおりである。

【愛子 200m】

愛子の植生保護柵は河川界区分 1 に位置し、標高 200m～800m にかけて 4 箇所設置されている（2011・2012 年設置）。本年度は標高 200m に位置する植生保護柵において調査を実施した（表 2）。

愛子 200m では、柵内で 4 種、柵外で 5 種のシダ植物が確認された。コバノカナワラビは継続して柵内のみ確認であり、目標に至っていない状況であった。また、前回柵外で確認されたミゾシダについて今回確認されなかった。柵内外の草本層全体の被覆率については、前回から変化はなかったが、低木層全体の被覆率については柵内で増加した。

表 2 愛子 200m における柵内外の低木・草本層とシダ植物の被覆率の変化

種名	調査年度									
	2012		2014		2016		2019		2023	
	柵内	柵外	柵内	柵外	柵内	柵外	柵内	柵外	柵内	柵外
低木層全体	35%	60%	35%	50%	35%	40%	35%	60%	50%	60%
草本層全体	40%	35%	40%	35%	40%	35%	80%	65%	80%	65%
エダウチホングウシダ		1%		1%		10%	1%	2%	1%	1%
オニクヤマゴケ		1%				1%		1%		3%
コバノカナワラビ	10%		10%		1%		2%		2%	
ホコザキベニシダ		10%		1%		10%		5%		5%
ミゾシダ								1%		消失
ミヤマノコギリシダ	10%	10%	25%	10%	25%	10%	20%	20%	15%	15%
ヨゴレイタチシダ	25%	25%	25%	25%	25%	25%	30%	25%	30%	25%
種数計	3	5	3	4	3	5	4	6	4	5
目標未達種数	1		2		2		1		1	

※目標に至っていない部分を青色着色で示した（以下、同）。

【中間 5】

中間の植生保護柵は河川界区分 5 に位置し、標高約 510m 地点に近接して 7 箇所設置されている（2010 年設置）。本年度は中間 5 の植生保護柵において約 10 年ぶりに調査を実施した。

中間 5 では、本年度、柵内で 7 種、柵外で 6 種のシダ植物が確認された（表 3）。前回と比較して柵内で 4 種、柵外で 3 種消失した。柵内で確認されたオオキジノオ、タカサゴキジノオ、ホコザキベニシダ、ヤクカナワラビの 4 種については目標に至っていない状況であった。

なお、柵内でも被覆率の減少や消失が見られるが、網の破れが確認されたため（現在補修済み）その際にヤクシカが柵内に侵入した可能性も考えられる。

表 3 中間5における柵内外の低木・草本層とシダ植物の被覆率の変化

種名	調査年度							
	2011		2012		2014		2023	
	柵内	柵外	柵内	柵外	柵内	柵外	柵内	柵外
低木層全体	75%	30%	80%	30%	65%	20%	65%	30%
草本層全体	70%	50%	70%	50%	65%	35%	35%	90%
オオキジノオ	1%		1%				1%	
カツモウイノデ	50%	10%	50%	10%	25%	10%	15%	20%
コバノイシカグマ	10%		10%		1%		消失	
シシラン								
タカサゴキジノオ	10%	10%	10%	10%	10%	1%	3%	1%
希少種A	10%	10%	10%	10%	10%	1%	消失	1%
ツルホラゴケ	1%	25%	1%	25%	消失	10%		消失
トウゴクシダ	1%		10%		1%		消失	
ナガバノイタチシダ								
ヌリトラノオ			1%		消失			
ハイホラゴケ		1%		10%		消失		
ホコザキベニシダ	1%	1%	1%	1%	10%	1%	1%	消失
ホソバカナワラビ	10%	10%	10%	10%	25%	10%	5%	8%
マメヅタ	1%		1%		1%	1%	消失	1%
ミヤマノコギリシダ	50%	25%	50%	50%	25%	25%	10%	40%
ヤクカナワラビ	10%	1%	10%	1%	10%	1%	3%	消失
種数計	12	9	13	9	10	9	7	6
目標未達種数	5		7		8		4	

【カンカケ 300m・550m】

カンカケの植生保護柵は河川界区分8に位置し、標高200m～700mにかけて6箇所に設置されている（2010年設置）。本年度は標高300mおよび550mに位置する植生保護柵において調査を実施した（表5）。

カンカケ300mでは、本年度、柵内で3種、柵外で3種のシダ植物が確認された（表4）。過年度と比較すると柵内でイシカグマとコバノカナワラビ、柵外でカツモウイノデが新規に確認された。目標未達種は2種あったが、柵内での新規確認による結果であり、柵外で継続的に確認されているホソバカナワラビも前回の被覆率を維持しているため、悪化はしていないと考えられる。

表 4 カンカケ 300m における柵内外の低木・草本層とシダ植物の被覆率の変化

種名	調査年度									
	2010		2011		2012		2020		2023	
	柵内	柵外	柵内	柵外	柵内	柵外	柵内	柵外	柵内	柵外
草本層全体	5%	20%	5%	20%	—	15%	45%	50%	35%	60%
イシカグマ									1%	
カツモウイノデ										1%
コバノカナワラビ									2%	
ヌリトラノオ			1%		消失					
ホソバカナワラビ	10%	25%	10%	25%	10%	25%	40%	50%	30%	55%
マメヅタ	1%		1%		1%	1%	消失			1%
確認種数	2	1	3	1	2	2	1	1	3	3
目標未達種数	1		2		0		0		2	

カンカケ 550m では、本年度、柵内で 6 種、柵外で 6 種のシダ植物が確認された（表 5）。過年度と比較すると柵外でマメヅタが新規に確認された。柵外のホソバカナワラビは 2020 年から継続して被覆率が低く、目標に至っていない状況であった。また、ヨゴレイタチシダは柵内での被覆率が増加したものの、柵外での被覆率は変化なく目標未達となった。

表 5 カンカケ 550m における柵内外の低木・草本層とシダ植物の被覆率の変化

種名	調査年度									
	2010		2011		2012		2020		2023	
	柵内	柵外	柵内	柵外	柵内	柵外	柵内	柵外	柵内	柵外
低木層全体	5%	20%	—	—	7%	25%		30%		25%
草本層全体	7%	6%	30%	40%	20%	35%	25%	25%	35%	25%
コバノカナワラビ							2%	1%	2%	1%
ホコザキベニシダ		1%	1%	1%	1%	1%	2%	2%	1%	2%
ホソバカナワラビ	10%	10%	10%	10%	10%	25%	20%	3%	25%	3%
マメヅタ	1%		1%		1%		1%		1%	1%
ミヤマノコギリシダ	10%	10%	10%	25%	10%	25%	5%	20%	6%	10%
ヨゴレイタチシダ		10%	1%	10%		10%	3%	2%	8%	2%
確認種数	3	4	5	4	4	4	6	5	6	6
目標未達種数	1		1		1		2		2	

【波砂岳(48 ち2)】

波砂岳の植生保護柵は河川界区分 4 に位置し、標高約 240m 地点に設置されている（2011 年設置）。

本年度は柵内で 4 種、柵外で 1 種のシダ植物が確認された（表 6）。確認種全種が目標未達であるが、過年度と比較すると柵内外ともにシダ植物の被覆率は増加した。本植生保護柵は今回が 2 回目の調査であり、今後の変化を注意して見ていく必要がある。

表 6 波砂岳（48 ち 2）における柵内外の低木・草本層とシダ植物の被覆率の変化

種名	調査年度			
	2020		2023	
	柵内	柵外	柵内	柵外
低木層全体	15%	2%	30%	
草本層全体	50%	15%	60%	15%
コバノカナワラビ	2%		5%	
ホソバカナワラビ	30%	6%	40%	10%
リュウビンタイ	50%		60%	
確認種数	3	1	3	1
目標未達種数	3		3	

【ハサ嶽(69 い5)】

ハサ嶽の植生保護柵は河川界区分 4 に位置し、標高約 540m 地点に設置されている（2011 年設置）。

本年度は柵内で 4 種、柵外で 2 種のシダ植物が確認された（表 7）。過年度と比較すると柵内外ともに確認種は変わらず、柵内で確認されたウラジロとヨゴレイタチシダの 2 種は継続して柵外で

は確認されなかった。また、目標未達種は3種から2種となったが、柵外の被覆率が増加したのではなく、柵内での被覆率が減少したためであるため、状況は改善していないと考えられる。

また、波砂岳と同様、本植生保護柵は今回がまだ2回目の調査であり、今後の変化を注意して見ていく必要がある。

表 7 ハサ嶽（69 い 5）における柵内外の低木・草本層とシダ植物の被覆率の変化

種名	調査年度			
	2020		2023	
	柵内	柵外	柵内	柵外
低木層全体	5%		40%	
草本層全体	15%	10%	30%	15%
ウラボシ	4%		2%	
ホコザキベニシダ	5%	1%	2%	1%
ミヤマノコギリシダ	2%	1%	3%	2%
ヨゴレイタチシダ	2%		5%	
確認種数	4	2	4	2
目標未達種数	3		2	

②屋久島世界自然遺産の顕著な普遍的価値である植生垂直分布を形成する植物種の多様性の回復

評価指標：植物種数

評価基準：各標高帯において 2000 年代の確認植物種数に回復させる。

把握方法：植生垂直分布調査結果から各標高帯の草本層の植物種名・種数を抽出して 2000 年代の状況と比較する。また、種数だけでなく 2000 年代の調査以降に消失した種の回復（再出現）状況も確認する。

本年度は、九州森林管理局計画課の事業において屋久島南部地域で植生垂直分布調査を実施したため（図 2）、その詳細調査プロットでの結果を抽出し、屋久島南部地域の植物種数の変化傾向の把握と本目標の現状評価を行った。

【南部地域の現状評価】

南部地域については、2018 年調査時点において、1400m 地点を除いた標高帯において 2008 年の確認種数と同等以上に増加し、回復傾向にあった。

今回 2023 年調査結果を追加した結果、1400m 地点含め、全標高帯において 2008 年の確認種数を超え、目標を達成していることが確認できた（図 3）。

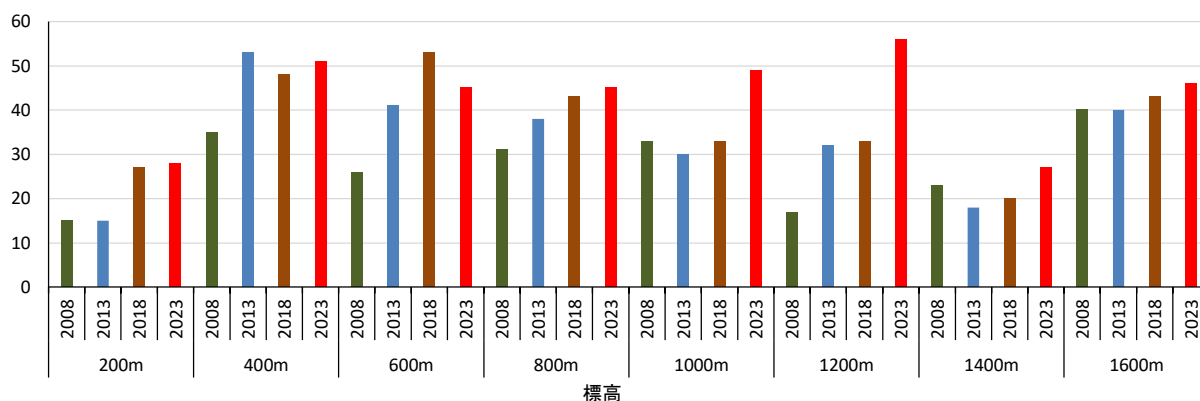


図 3 南部地域における標高別の植物種数の変化

【南部地域における消失/回復種と新規確認種】

本目標については目標を達成できているものの、種数の増加は消失種の回復だけでなく、攪乱等による新規出現種の増加によるものもある。このため、南部地域での消失種、回復種、新規確認種を標高帯別に整理した。

<標高 200m>

標高 200m 地点では、2008 年に確認され、2023 年までに消失した植物種は 15 種あった。消失種のうちヤクシカの高嗜好性種は 3 種あった。一方、2023 年までの回復種は消失種より少なく 10 種であった（表 8）。

また、2023 年になり初めて確認された種は 6 種あった。なお、2018 年には 9 種が初めて確認されたが、2023 年にはその約 8 割にあたる 7 種が消失した（表 8）。

表 8 標高 200m 地点詳細調査プロットでの消失種・回復種・新規確認種

ヤクシカ 嗜好性	消失種:15 種 (2008 年確認後 2023 年までに消失)	回復種:10 種 (2008 年確認後消失し 2023 年までに再確認)	2023 年 新規確認種:6 種 (2023 年に初確認)	2018 年 新規確認種:9 種 (2018 年に初確認) (青字は 2023 年に消失)
目標③の 嗜好種		ヤクシマオナガカエデ		イヌビワ、ホソバタブ
★★★ (特に好む)	フカノキ	タブノキ		アカメガシワ、コバンモチ
★★(好む)	クロガネモチ、モクタチ バナ	シマイズセンリョウ		カギカズラ、バリバリノキ
★(食べる)	ヤマビワ	タイミンタチバナ、 タマシダ、ヒサカキ	ミミズバイ	
不嗜好	ヒメユズリハ	ハスノハカズラ、フウト ウカズラ		クワズイモ
未評価	オオバチヂミザサ、キダ チニンドウ、ササガヤ、 サツマサンキライ、サネ カズラ、ハナミョウガ	コバノカナワラビ、マメ ヅタ	エゴノキ、オキナワシタ キソウ、ヒメイタビ、 ホラシノブ、ヨゴレイタ チンダ	オオムラサキシキブ、ヤブ タビラコ

<標高 400m>

標高 400m 地点では、2008 年に確認され、2023 年までに消失した植物種は 17 種あった。消失種のうちヤクシカの高嗜好性種は 4 種あり、環境省 RL (2020) 掲載種が 1 種あった。一方、2023 年までの回復種は消失種より少なく 9 種であった (表 9)。

また、2023 年になり初めて確認された種は 10 種あった。なお、2018 年には 11 種が初めて確認されたが、2023 年には過半数の 6 種が消失した (表 9)。

表 9 標高 400m 地点詳細調査プロットでの消失種・回復種・新規確認種

ヤクシカ 嗜好性	消失種:17 種 (2008 年確認後 2023 年までに消失)	回復種:9 種 (2008 年確認後消失し 2023 年までに再確認)	2023 年 新規確認種:10 種 (2023 年に初確認)	2018 年 新規確認種:11 種 (2018 年に初確認) (青字は 2023 年に消失)
目標③の 嗜好種	サツマイナモリ、ヒロハ ノコギリシダ、リュウビ ンタイ	ホソバタブ		イヌビワ、マテバシイ、 ヤクシマオナガカエデ
★★★ (特に好む)		ヤクシマアジサイ	ウラジログシ、スダジイ	リュウブ
★★(好む)	ヒトツバ		サンゴジュ	
★(食べる)	クロバイ	ウラジロ、タイミンタチ バナ、ヒサカキ、ヤマビ ワ		
不嗜好	フウトウカズラ	マンリョウ	サザンカ、ユノミネシダ	ハスノハカズラ
未評価	イズセンリョウ、オオア マクサシダ、キダチニン ドウ、サツマルリミノキ サンカクヅル、シケシダ ナタオレノキ、フユイチ ゴ、ホウビシダ、ホソバ コケシノブ、希少種 B	イシカグマ、コバノカナ ワラビ	エダウチホングウシダ、 オオキジノオ、オキナワ シタキソウ、コバノヒノ キシダ、ナンゴクホウビ シダ	イワガネゼンマイ、エゴノ キ、コウザキシダ、タカサゴ キジノオ、ハナガサノキ、 希少種 C

<標高 600m>

標高 600m 地点では、2008 年に確認され、2023 年までに消失した植物種は 14 種あった。消失種のうちヤクシカの高嗜好性種は 2 種あり、環境省 RL (2020) 掲載種が 1 種あった。一方、2023 年までの回復種もほぼ同数の 15 種あった (表 10)。

また、2023 年になり初めて確認された種は 5 種あった。なお、2018 年には 11 種が初めて確認されたが、2023 年には過半数の 6 種が消失した (表 10)。

表 10 標高 600m 地点詳細調査プロットでの消失種・回復種・新規確認種

ヤクシカ 嗜好性	消失種:14 種 (2008 年確認後 2023 年 までに消失)	回復種:15 種 (2008 年確認後消失し 2023 年までに再確認)	2023 年 新規確認種:5 種 (2023 年に初確認)	2018 年 新規確認種:11 種 (2018 年に初確認) (青字は 2023 年に消失)
目標③の 嗜好種		アカガシ、マテバシイ、 ヤブニッケイ		
★★★ (特に好む)	ルリミノキ	ウラジログシ、ヤクシマ アジサイ		
★★(好む)	モクタチバナ	シマイズセンリョウ、バ リバリノキ		
★(食べる)	タマシダ	イヌガシ、ウラジロ、ヤ ブツバキ、ヤマビワ	クロバイ、ミミズバイ	
不嗜好	トキワガキ	シラタマカズラ、マンリ ョウ	ハスノカズラ	モッコク、ヤマモモ
未評価	カタヒバ、コバノイシカ グマ、タカサゴキジノオ、 チヂミザサ、ヒメアリド オシ、ヒメガンクビソウ、 ベニシダ、希少種 D、マル バフユイチゴ、ヤマイタ チシダ	ヒメイタビ、マメツタ	オキナワシタキソウ、 ヨゴレイタチシダ	イタビカズラ、コバノカナワ ラビ、サネカズラ、シュスラ ン、希少種 E、ツルグミ、テ イカカズラ、トウゴクシダ、 モクレイシ

<標高 800m>

標高 800m 地点では、2008 年に確認され、2023 年までに消失した植物種は 7 種あった。消失種のうちヤクシカの高嗜好性種は 2 種あった。一方、2023 年までの回復種は消失種より少なく 4 種のみであった (表 11)。

また、2023 年になり初めて確認された種は 7 種あり、環境省 RL 掲載種が 2 種あった。なお、2018 年には 4 種が初めて確認されたが、2023 年には半数の 2 種が消失した (表 11)。

表 11 標高 800m 地点詳細調査プロットでの消失種・回復種・新規確認種

ヤクシカ 嗜好性	消失種:7 種 (2008 年確認後 2023 年 までに消失)	回復種:4 種 (2008 年確認後消失し 2023 年までに再確認)	2023 年 新規確認種:7 種 (2023 年に初確認)	2018 年 新規確認種:4 種 (2018 年に初確認) (青字は 2023 年に消失)
目標③の 嗜好種	ホソバタブ			
★★★ (特に好む)	ヤマグルマ	ウラジログシ		コバンモチ
★(食べる)		イスノキ		
不嗜好			マムシグサ	
未評価	オニクラマゴケ、ノコギ リシダ、ヒメアリドオ シ、ベニシダ、ヤクシマ ツチトリモチ	テイカカズラ、ヘラシダ	希少種 F、ホソバトウゲ シバ、希少種 G、ミゾシ ダ、ミヤマノキシノブ、 ヤクシマナミキ	ウチワゴケ、ダイヤモンドソ ウ、ホソバコケシノブ

<標高 1000m>

標高 1000m 地点では、2008 年に確認され、2023 年までに消失した植物種は 6 種あった。消失種のうちヤクシカの高嗜好性種は 1 種あり、環境省 RL (2020) 掲載種が 1 種あった。一方、2023 年までの回復種は消失種の半数の 3 種のみであった (表 12)。

また、2023 年になり初めて確認された種は 15 種あり、環境省 RL 掲載種が 3 種あった。なお、2018 年には 7 種が初めて確認されたが、2023 年には過半数の 5 種が消失した (表 12)。

表 12 標高 1000m 地点詳細調査プロットでの消失種・回復種・新規確認種

ヤクシカ嗜好性	消失種:6 種 (2008 年確認後 2023 年までに消失)	回復種:3 種 (2008 年確認後消失し 2023 年までに再確認)	2023 年 新規確認種:15 種 (2023 年に初確認)	2018 年 新規確認種:7 種 (2018 年に初確認) (青字は 2023 年に消失)
目標③の嗜好種			ヤクシマオナガカエデ	
★★★ (特に好む)	イヌツゲ			
★★(好む)			ツガ、ハリギリ、バリバリノキ	
★(食べる)		クロバイ	ウラジロ、ホウロクイチゴ	ヤブツバキ
不嗜好	ヤマモモ			
未評価	キジノオシダ、シライトソウ、ヒメアリドオシ、希少種 H	オニクラマゴケ、ヤクシマツチトリモチ	イワガラミ、オオキジノオ、希少種 I、希少種 J、ツチトリモチ、ヒメイタビ、ヒメシヤラ、希少種 K、モクレイシ	ウチワゴケ、トウゴクシダ、ヌリトラノオ、ノキシノブ、ホソバトウゲシバ、希少種 L

<標高 1200m>

標高 1200m 地点では、2008 年に確認され、2023 年までに消失した植物種は 3 種あった。消失種のうちヤクシカの高嗜好性種は 1 種あった。一方、2023 年までの回復種も消失種と同数の 3 種であった (表 13)。

また、2023 年になり初めて確認された種は 26 種あり、環境省 RL 掲載種が 3 種あった。なお、2018 年には 6 種が初めて確認されたが、2023 年には 2 種が消失した (表 13)。

表 13 標高 1200m 地点詳細調査プロットでの消失種・回復種・新規確認種

ヤクシカ嗜好性	消失種:3 種 (2008 年確認後 2023 年までに消失)	回復種:3 種 (2008 年確認後消失し 2023 年までに再確認)	2023 年 新規確認種:26 種 (2023 年に初確認)	2018 年 新規確認種:6 種 (2018 年に初確認) (青字は 2023 年に消失)
目標③の嗜好種	アカガシ			
★★★ (特に好む)			ヤマグルマ	ウラジログシ
★★(好む)			ヒトツバ	
★(食べる)		ヤブツバキ	ウラジロ、クロバイ、ホウロクイチゴ	
不嗜好		マンリョウ	ユズリハ、ユノミネシダ	
未評価	キジノオシダ、ヤクシマシヤクナゲ	ヒイラギ	カナクギノキ、コショウノキ、コバノヒノキシダ、シノブ、希少種 M、希少種 N、ツクシイヌツゲ、ツチトリモチ、ツルアジサイ、ナチシケンシダ、ヒメツルアリドオシ、ヒメノキシノブ、ヒメハシゴシダ、希少種 O、ホソバトウゲシバ、ホラシノブ、マメツタ、ミヤマノキシノブ、モミ	オニクロキ、トウゴクシダ、希少種 P、ヒメヒサカキ、ヤクシマツチトリモチ

<標高 1400m>

標高 1400m 地点については、2008 年に確認され、2023 年までに消失した植物種は 2 種あった。消失種のうちヤクシカの高嗜好性種は 1 種あった。一方、2023 年までの回復種は消失種よりも多く 4 種あった（表 14）。

また、2023 年になり初めて確認された種は 6 種あった。なお、2018 年には 2 種が初めて確認され、いずれも 2023 年に継続して確認された（表 14）。

表 14 標高 1400m 地点詳細調査プロットでの消失種・回復種・新規確認種

ヤクシカ嗜好性	消失種:2 種 (2008 年確認後 2023 年までに消失)	回復種:4 種 (2008 年確認後消失し 2023 年までに再確認)	2023 年 新規確認種:6 種 (2023 年に初確認)	2018 年 新規確認種:2 種 (2018 年に初確認)
目標③の嗜好種	アカガシ			
★★(好む)		サカキ		
不嗜好		ユズリハ		
未評価	ヤクシマジャクナゲ	オニクロキ、ヒイラギ	イソノキ、カナクギノキ、キヨスミコケシノブ、サルトリイバラ、タカサゴキジノオ、ツクシイヌツゲ	キッコウハグマ、希少種 Q

<標高 1600m>

標高 1600m 地点については、2008 年に確認され、2023 年までに消失した植物種は 3 種あった。一方、2023 年までの回復種は消失種より少なく 1 種のみであった（表 15）。

また、2023 年になり初めて確認された種は 6 種あり、環境省 RL 掲載種が 1 種あった。なお、2018 年にも 6 種が初めて確認されたが、2023 年には半数の 3 種が消失した（表 15）。

表 15 標高 1600m 地点詳細調査プロットでの消失種・回復種・新規確認種

ヤクシカ嗜好性	消失種:3 種 (2008 年確認後 2023 年までに消失)	回復種:1 種 (2008 年確認後消失し 2023 年までに再確認)	2023 年 新規確認種:6 種 (2023 年に初確認)	2018 年 新規確認種:6 種 (2018 年に初確認) (青字は 2023 年に消失)
未評価	オサシダ、シコクママコナ、ハシゴシダ	サルトリイバラ	キジノオシダ、コツクバネウツギ、希少種 R、トウゴクシダ、ハリガネワラビ、ホソバコケシノブ	オオハシゴシダ、希少種 S、ツクシイヌツゲ、ツクシゼリ、マルバヤマシグレ、マシネンスギ

標高帯ごとに消失種数と回復種数を比較すると回復種数が同数以上になるのは、標高 600m、1200 m、1400m のみであり、多くの標高帯で消失種数の方が多かった。また、各標高帯において新規確認種数が消失種数と回復種数の差以上あるため、各標高帯での種数の増加は新規出現種による影響がかなり大きい状況である。

なお、標高 1200m と 1400m を除き、前回（2018 年）確認された新規確認種の半数以上が今回確認されなかったため、新規確認種は一時的な生育のものが多くあまり定着できていない状況と考えられる。

③ヤクシカの嗜好性植物種の更新

評価指標：嗜好性植物種の種数、被覆率

評価基準：ヤクシカの嗜好性植物種の確認種数、被覆率を過年度から回復または維持増加させる。

把握方法：嗜好性植物種について生育の更新状況を把握しやすい草本層の出現状況及び被覆率の経年的な変化を確認する。

本年度は、②と同様、九州森林管理局計画課の事業において実施予定の屋久島南部地域（図2）の植生垂直分布調査結果から過年度に選定した嗜好性植物種の抽出・整理を行った。

確認種数はほとんどの標高帯で減少し、減少しなかったのはヤクシマオナガカエデが新規確認された標高 1000m（増加）と標高 1600m（同数）のみであった。但し、継続して確認された種の被覆率を見ると、標高 1600m では大きく減少し、標高 200m のマテバシイ以外は増加がなかった。

以上より、標高 1000m を除き目標を達成できていない状況である。

表 16 南部地域における標高別の嗜好性植物種の被覆率（%）の変化

嗜好性植物種名	200m						400m					
	2003	2008	2013	2018	2023	変化	2003	2008	2013	2018	2023	変化
イヌビワ		1%		1%						1%		
サツマイナモリ							1%					
サンショウソウ							1%	1%	1%	1%	1%	
ヒロハノコギリシダ							25%	25%	1%	1%		
ヘゴ		1%						1%	1%	1%		
ホソバタブ				1%			1%	1%		1%	1%	
マテバシイ		1%	1%	1%	5%			1%		1%	1%	
ヤクシマオナガカエデ	1%	1%			1%					1%	1%	
ヤブニッケイ								1%	1%		1%	
リュウビンタイ		1%					1%	1%	1%			
確認種数	1	5	1	3	2		5	7	5	7	5	
嗜好性植物種名	600m						800m					
	2003	2008	2013	2018	2023	変化	2003	2008	2013	2018	2023	変化
アカガシ	1%	1%		1%	1%			1%				
イヌビワ			1%	1%								
カンツワブキ			1%	1%								
サツマイナモリ		1%										
サンショウソウ		1%						1%	1%	1%	1%	
ホソバタブ	1%	1%	1%	1%	1%		1%	1%		1%		
マテバシイ	1%	1%	1%	1%	1%							
ヤブニッケイ	10%	10%	1%	1%	1%			1%	1%			
確認種数	4	6	5	6	4		1	4	2	2	1	
嗜好性植物種名	1000m						1200m					
	2003	2008	2013	2018	2023	変化	2003	2008	2013	2018	2023	変化
アカガシ							1%	1%		1%		
サンショウソウ		1%										
ホソバタブ		1%	1%		1%							
マテバシイ		1%										
ヤクシマオナガカエデ					1%							
ヤブニッケイ	1%	1%	1%	1%	1%							
確認種数	1	4	2	1	3		1	1	0	1	0	
嗜好性植物種名	1400m						1600m					
	2003	2008	2013	2018	2023	変化	2003	2008	2013	2018	2023	変化
アカガシ	1%	1%		1%								
希少種U							25%	25%	10%	25%	3%	
確認種数	1	1	0	1	0		1	1	1	1	1	

④絶滅のおそれのある固有植物種等の保全

評価指標：希少種・固有植物種の生育確認地点数・個体数

評価基準：既往調査地において絶滅のおそれのある固有植物種等の生育確認地点数・生育個体数を過年度から維持増加させる。

把握方法：環境省事業で調査対象種として選定された絶滅のおそれのある固有植物種等 267 種のうち、選定時に既確認されていた 91 種を指標種とし（表 17～表 20）、当該事業の調査結果から指標種の確認地点数・確認個体数について経年的な変化を確認する。

本年度は、環境省事業において絶滅のおそれのある固有植物種等の調査がモニタリングサイト 107 地点のうち、10 地点でモニタリングが実施された。このため、この 10 地点について、地生種と着生種に分け、前回調査（主に平成 28 年実施、一部平成 23 年、29 年に実施）と比較した。なお、調査地点や調査の詳細については環境省の報告資料参照（資料 3-④）。

生育確認地点数を見ると、地生種については確認地点が 1 地点増加し、10 地点全てで確認された。着生種については、10 地点中 6 地点の確認で、地点数は前回と同じだが、全て同じ地点ではなく、新規確認地点が 1 地点あった一方、前回確認地点 1 地点で確認なしという状況であった。

以上より、生育確認地点数については、全体で見ると、地生種・着生種ともに過年度から維持増加し目標を達成していた。

しかしながら、確認されなくなった地点もあったほか、モニタリング地点別の種数を見ると、地生種が 1 地点、着生種が 2 地点で減少していた。これらの地点については注意する必要がある。

次にモニタリング地点別の生育個体数を見ると、地生種については 10 地点中 8 地点で増加し 2 地点で減少、着生種については、確認 6 地点で増加し 1 地点で減少（消失）していた。

このため、生育個体数についても、地生種・着生種ともに多くの地点で増加し目標を達成している一方、減少または消失し目標に至らなかった地点もあった。

表 17 環境省事業で選定された希少種・固有種等の一覧（緑塗：既確認 91 種）＜1/4＞

No.	分類群	科名	和名	学名	鹿児島 県RDB 2003	鹿児島 県RDB 2016	環境省 RL 2017	種の 保存法	固有種	地生/ 着生
1	シダ植物	ヒカゲノカズラ	ヒモヅル	<i>Lycopodium casuarinoides</i>	CR+EN	CR+EN	VU			着生
2			ヒメスギラン	<i>Lycopodium chinense</i>	CR+EN	CR+EN				着生
3			スギラン	<i>Lycopodium cryptomerinum</i>		CR+EN	VU			着生
4			ヒメスギラン	<i>Lycopodium fargesii</i>	CR+EN	CR+EN	CR	国内		着生
5			タカネヒカゲノカズラ	<i>Lycopodium nikoense</i>	VU	VU				地生
6			ヨウラクヒバ	<i>Lycopodium phlegmaria</i>	VU	CR+EN	EN			着生
7			コスギラン	<i>Lycopodium selago</i>	VU	VU				地生
8			ヒモラン	<i>Lycopodium sieboldii</i>	NT	CR+EN	EN			着生
9			リュウキュウヒモラン	<i>Lycopodium sieboldii</i> var. <i>christenianum</i>		CR+EN	CR			着生
10			コスギトウゲシバ	<i>Lycopodium somae</i>	CR+EN	CR+EN	CR			地生
11		ハナヤスリ	コブラン	<i>Ophioglossum pendulum</i>	CR+EN	CR+EN	EN			着生
12		リュウビンタイ	ホソバリュウビンタイ	<i>Angiopteris palmiformis</i>	VU	VU				地生
13		キジノオシダ	ヤマソテツ	<i>Plagiogyria matsumureana</i>	VU	VU				地生
14			ヒメキジノオ	<i>Plagiogyria pseudo-japonica</i>	VU	VU				地生
15			シマヤマソテツ	<i>Plagiogyria stenoptera</i>	VU	CR+EN	CR			地生
16			コスギダニキジノオ	<i>Plagiogyria yakumonticola</i>		VU				地生
17		ウラジロ	カネコシダ	<i>Gleichenia laevissima</i>	VU	VU	VU			地生
18		コケシノブ	キクモバホラゴケ	<i>Callistopteris apiifolia</i>	CR+EN	CR+EN	CR			地生
19			リュウキュウホラゴケ	<i>Lacosteopsis tiukiuensis</i>	VU	VU				地生
20			シノブホラゴケ	<i>Lacosteopsis maxima</i>	NT	VU	EN			地生
21		コバノイシカグマ	セイタカイワヒメワラビ	<i>Hypolepis tenuifolia</i>			EX			地生
22			コウシュンシダ	<i>Microlepia obtusiloba</i>	NT	NT	VU			地生
23			ホソバコウシュンシダ	<i>Microlepia obtusiloba</i> var. <i>angustata</i>	VU	CR+EN	CR	国内	固有変種	地生
24			フジシダ	<i>Ptilopteris maximowiczii</i>	VU	VU				地生
25		ホングウシダ	アンナンホングウシダ	<i>Lindsaea annamensis</i>	VU	VU				地生
26			ヒメホングウシダ	<i>Lindsaea cambodgensis</i>		VU	VU			地生
27			シノブホングウシダ	<i>Lindsaea kawabatae</i>	CR+EN	CR+EN	CR		固有種	地生
28			ウチワホングウシダ	<i>Lindsaea simulans</i>		CR+EN	EN			地生
29			ホソバホラシノブ	<i>Sphenomeris chinensis</i> var. <i>stenophylla</i>	VU	VU			固有変種	地生
30		シノブ	シノブ	<i>Davallia mariesii</i>	VU					着生
31			キクシノブ	<i>Humata repens</i>	VU	VU	VU			着生
32		ミズワラビ	スキヤクジャク	<i>Adiantum diaphanum</i>	CR+EN	CR+EN	NT			地生
33			オキナフクジャク	<i>Adiantum flabellulatum</i>	NT	CR+EN				地生
34		シシラン	タキシシダ	<i>Antrophyum obovatum</i>	CR+EN	CR+EN	EN			地生
35			オオバシシラン	<i>Vittaria forrestiana</i>	CR+EN	CR+EN	CR			地生
36		イノモトソウ	カワリバアマクサシダ	<i>Pteris cadieri</i>	VU	VU	VU			地生
37			アシガタシダ	<i>Pteris grevilleana</i>	CR+EN	CR+EN	CR			地生
38			カワバタハチジョウシダ	<i>Pteris kawabatae</i>	CR+EN	CR+EN	CR		固有種	地生
39			ヤワラハチジョウシダ	<i>Pteris natiensis</i>		NT	EN			地生
40			トゲハチジョウシダ	<i>Pteris setuloso-costulata</i>	NT	CR+EN	EN			地生
41			ヒカゲアマクサシダ	<i>Pteris tokioi</i>	NT	VU	EN			地生
42			ヤクシマハチジョウシダ	<i>Pteris yakuinsularis</i>	NT	NT	VU			地生
43		チャセンシダ	オオタニワタリ	<i>Asplenium antiquum</i>	VU	VU	VU			着生
44			フササジラン	<i>Asplenium griffithianum</i>	NT	CR+EN	CR	国内		着生
45			ミタニシダ	<i>Asplenium mitanii</i>	NT	NT			固有種	地生
46		シシガシラ	オオギミシダ	<i>Woodwardia harlandii</i>	NT	CR+EN	VU			地生
47		ツルギジノオ	ヒロハアツイタ	<i>Elaphoglossum tosaense</i>	CR+EN	CR+EN	VU			着生
48			アツイタ	<i>Elaphoglossum yoshinagae</i>	CR+EN	CR+EN	VU			着生
49		オシダ	タイワンヒメワラビ	<i>Acrophorus nodosus</i>	NT	CR+EN	VU			地生
50			ヤクシマカナワラビ	<i>Arachniodes cavalerii</i>	CR+EN	CR+EN	VU			地生
51			ツルダカナワラビ	<i>Arachniodes japonica</i>	CR+EN	CR+EN	CR			地生
52			オノアイダカナワラビ	<i>Arachniodes pseudo-repens</i>	NT				固有種	地生
53			ムカシベニシダ	<i>Dryopteris anadroma</i>	CR+EN	CR+EN	CR		固有種	地生
54			ヌカイタチシダ	<i>Dryopteris gymnosora</i>	NT	VU				着生
55			ホソバノヌカイタチシダ	<i>Dryopteris gymnosora</i> var. <i>angustata</i>	CR+EN	CR+EN	CR		固有変種	地生
56			ホウライヒメワラビ	<i>Dryopteris hendersonii</i>	VU	CR+EN	EN			地生
57			クロミベニシダ	<i>Dryopteris kuromiensis</i>	NT	NT			固有種	地生
58			ムラサキベニシダ	<i>Dryopteris purpurella</i>	NT	NT	CR			地生
59			ムラサキベニシダモドキ	<i>Dryopteris purpurelloides</i>	NT	NT			固有種	地生
60			コスギイタチシダ	<i>Dryopteris yakusihicola</i>	CR+EN	CR+EN	NT			着生
61			コモチイノデ	<i>Polystichum eximium</i>	NT	VU	VU			地生
62			ナナバケシダ	<i>Tectaria decurrens</i>	NT	CR+EN				地生
63		ヒメシダ	ハイミミガタシダ	<i>Pseudophegopteris aurita</i>	CR+EN	EW	EW			地生
64			ヒメミゾシダ	<i>Stegogramma gymnocarpa</i> ssp. <i>umabizii</i>	NT	VU	NT			着生
65			ホソバシヨリマ	<i>Thelypteris beddomei</i>	NT	VU				地生
66			タイヨウシダ	<i>Thelypteris erubescens</i>	CR+EN	CR+EN	CR			地生
67			シマヤワラシダ	<i>Thelypteris gracilescens</i>	VU	CR+EN	CR	国内		地生
68			タイワンハリガネワラビ	<i>Thelypteris uraiensis</i>	NT	CR+EN	EN			地生
69		メシダ	ウスヒメワラビ	<i>Acystopteris japonica</i>		VU				地生
70			ホウライウスヒメワラビ	<i>Acystopteris tenuisecta</i>	NT	CR+EN	CR			地生

表 18 環境省事業で選定された固有種・希少種等の一覧（緑塗：既確認 91 種）＜2/4＞

No.	分類群	科名	和名	学名	鹿児島 県RDB 2003	鹿児島 県RDB 2016	環境省 RL 2017	種の 保存法	固有種	地生/ 着生
71	シダ植物	メシダ	タイワンアリスイヌワラビ	<i>Athyrium arisanense</i>	CR+EN	CR+EN	CR			地生
72			カラクサイヌワラビ	<i>Athyrium clivicola</i>	NT	VU				地生
73			シビイヌワラビ	<i>Athyrium kenzo-satakei</i>	CR+EN	CR+EN	CR			地生
74			キリシマヘビノネゴザ	<i>Athyrium kirisimaense</i>	NT	VU				地生
75			ヤクイヌワラビ	<i>Athyrium masamunei</i>	NT	CR+EN	CR		固有種	地生
76			ヒメホウビシダ	<i>Athyrium nakanoi</i>	NT	VU	VU			着生
77			イヌワラビ	<i>Athyrium niponicum</i>		VU				地生
78			サカバサトメシダ	<i>Athyrium palustre</i>	NT	VU	VU			地生
79			サカバイヌワラビ	<i>Athyrium reflexipinnum</i>	NT	CR+EN	EN			地生
80			タカサゴイヌワラビ	<i>Athyrium silvicola</i>		CR+EN	CR			地生
81			コモチイヌワラビ	<i>Athyrium stigillosum</i>	VU	CR+EN	EN			地生
82			ホウライイヌワラビ	<i>Athyrium subrigescens</i>	VU	VU	EN			地生
83			シマイヌワラビ	<i>Athyrium tozanense</i>	VU	VU	CR			地生
84			ヤマイヌワラビ	<i>Athyrium vidalii</i>	NT	VU				地生
85			ヤクシマタニイヌワラビ	<i>Athyrium yakusimense</i>	VU	VU	CR	国内	固有種	地生
86			ホソバシケチシダ	<i>Cornopteris fluvialis</i>	NT	CR+EN	EN	国内		地生
87			ナンゴクシケチシダ	<i>Cornopteris opaca</i> f. <i>glabrescens</i>	NT	NT	VU			地生
88			ジャコウシダ	<i>Dictydroma formosana</i>	CR+EN	CR+EN	CR			地生
89			イワヤシダ	<i>Diplazopsis cavalieriana</i>	NT	VU				地生
90			アオイガワラビ	<i>Diplazium kawakamii</i>	VU	CR+EN	CR	国内		地生
91			ウスゲアオイガワラビ	<i>Diplazium kawakamii</i> f. <i>subglabratum</i>	VU	CR+EN				地生
92			ニセシロヤマシダ	<i>Diplazium taiwanense</i>		NT	VU			地生
93			キンモウワラビ	<i>Hypodematium crenatum</i> ssp. <i>flaviret</i>			VU			地生
94		ウラボシ	タイワンクリハラン	<i>Colysis hemionitidea</i>	NT	NT	VU			着生
95			ヤクシマウラボシ	<i>Crypsinus yakusimensis</i>	VU	VU	EN			地生
96			オニマメツタ	<i>Lepidogrammitis pyriformis</i>	CR+EN	CR+EN	CR			着生
97			コウラボシ	<i>Lepisorus uchiyamae</i>		VU				着生
98			サジラン	<i>Loxogramme dulouxii</i>	NT	VU				着生
99			オオクリハラン	<i>Microsorium fortunei</i>			VU			着生
100			タイワンアオネカズラ	<i>Polypodium formosanum</i>	CR+EN	CR+EN	EN			着生
101		ヒメウラボシ	ヒメウラボシ	<i>Grammitis dorsipila</i>	VU	VU	EN			着生
102			ヒロハヒメウラボシ	<i>Grammitis nipponica</i>	NT	CR+EN	CR			地生
103			ナガバコウラボシ	<i>Grammitis tuyamiae</i>		CR+EN	EN			着生
104	離弁花類	イラクサ	ヒメアオミズ	<i>Pilea hamanoi</i> f. <i>yakushimensis</i>	NT				固有変種	地生
105		ヤドリギ	マルバマツグミ	<i>Taxillus kaempferi</i> var. <i>obovatus</i>	CR+EN	CR+EN			固有種	着生
106		キンボウゲ	オオゴカヨウオウレン	<i>Coptis quinquefolia</i> var. <i>ramosa</i>	CR+EN	VU			固有種	着生
107			ヒメキツネノボタン	<i>Ranunculus yaegatakenensis</i>	CR+EN	CR+EN	NT		固有変種	着生
108			ヒメウマノアシガタ	<i>Ranunculus yakushimensis</i>	CR+EN	CR+EN			固有変種	着生
109			ヤクシマカラマツ	<i>Thalictrum filamentosum</i> var. <i>yakusimense</i>	CR+EN	CR+EN	VU		固有変種	着生
110		ウマノスズクサ	オニカンアオイ	<i>Heterotropa hirsutisepala</i>	VU		VU		固有種	地生
111		ツバキ	ヒメヒサカキ	<i>Eurya yakushimensis</i>	NT	VU			固有種	地生
111		オトギリソウ	ヤクシマコオトギリ	<i>Hypericum yakusimense</i>					固有変種	地生
113		ユキノシタ	ヤクシマショウマ	<i>Astilbe glaberrima</i>	NT	NT			固有変種	地生
114			ヤクシマガクウツギ	<i>Hydrangea luto-venosa</i> var. <i>yakusimensis</i>		NT	NT		固有変種	地生
115			ヒメチャルメルソウ	<i>Mitella doiana</i>	CR+EN	CR+EN			固有種	着生
116		バラ	ヤクシマカマツカ	<i>Photinia villosa</i> var. <i>yakushimensis</i>	VU	VU			固有変種	地生
117			ヤクシマヒメバライチゴ	<i>Rubus illecebrosus</i> var. <i>yakushimensis</i>	VU	VU			固有変種	地生
118			ヤクシマキイチゴ	<i>Rubus x yakumontanus</i>	NT	NT			固有種	地生
119		カワゴケソウ	ヤクシマカワゴロモ	<i>Hydrobryum puncticulatum</i>	CR+EN	VU	EN		固有種	地生
120		フウロソウ	ヤクシマフウロ	<i>Geranium shikokianum</i> var. <i>yoshitanum</i>	VU	CR+EN	CR		固有種	地生
121		ミカン	ヤクシマカラスザンショウ	<i>Zanthoxylum yakumontanum</i>	NT	NT	VU		固有種	地生
122		カエデ	ヤクシマオナガカエデ	<i>Acer morifolium</i>		分重			固有変種	地生
123		ジンチョウゲ	シャクナンガンビ	<i>Daphnimorpha kudoii</i>	CR+EN	CR+EN	VU		固有種	地生
124		グミ	ヤクシマグミ	<i>Elaeagnus yakusimensis</i>	VU	VU	EN		固有種	地生
125		スミレ	コケスミレ	<i>Viola verecunda</i> var. <i>yakusimana</i>	CR+EN	CR+EN			固有変種	地生
126		セリ	ヤクシマノダケ	<i>Angelica yakusimensis</i>	NT	NT	VU		固有変種	地生
127	合弁花類	ツツジ	ヤクシマヨウラクツツジ	<i>Menziesia yakushimensis</i>	VU	VU	EN		固有種	地生
128			ヤクシマシャクナゲ	<i>Rhododendron degenerianum</i> ssp. <i>yakushimanum</i>	NT	NT			固有変種	地生
129			ヤクシマヤマツツジ	<i>Rhododendron yakusinsulare</i>	NT	VU	VU		固有種	地生
130			ヤクシマミツバツツジ	<i>Rhododendron yakumontanum</i>	NT	NT	VU		固有変種	地生
131			アキシバモドキ	<i>Vaccinium yakushimensis</i>	CR+EN	CR+EN	VU		固有種	着生
132		サクランソウ	ヒメコナスビ	<i>Lysimachia japonica</i> var. <i>minutissima</i>	VU	VU			固有変種	地生
133		リンドウ	ヤクシマコケリンドウ	<i>Gentiana yakumontana</i>					固有変種	地生
134			ヤクシマリンドウ	<i>Gentiana yakushimensis</i>	CR+EN	CR+EN	EN	特国内	固有種	地生
135			ハナヤマツルリンドウ	<i>Tripterospermum distylum</i>	CR+EN	CR+EN	EN	国内	固有種	地生
136		アカネ	ヤクシマムグラ	<i>Galium kantschaticum</i> var. <i>yakusimense</i>	NT	NT			固有変種	地生
137			ヤクシマハシカグサ	<i>Neonotis hirsuta</i> var. <i>yakushimensis</i>	VU	CR+EN			固有変種	地生
138		シソ	コケトウバナ	<i>Clinopodium multicaule</i> var. <i>minimum</i>	VU	CR+EN	NT		固有変種	地生
139			ヤクシマナミキ	<i>Scutellaria kuromidakensis</i>	CR+EN	VU	VU		固有変種	地生
140		ゴマノハグサ	ヤクシマママコナ	<i>Melampyrum laxum</i> var. <i>yakusimense</i>	VU	VU			固有変種	地生

表 19 環境省事業で選定された固有種・希少種等の一覧（緑塗：既確認 91 種）＜3/4＞

No.	分類群	科名	和名	学名	鹿児島 県RDB 2003	鹿児島 県RDB 2016	環境省 RL 2017	種の 保存法	固有種	地生/ 着生
141	合弁花類	ゴマノハグサ	ヤクシマシオガマ	<i>Pedicularis ochiaiana</i>	VU	CR+EN	VU		固有種	地生
142		オオバコ	ヤクシマオオバコ	<i>Plantago asiatica</i> var. <i>yakushimensis</i>	NT	NT			固有変種	地生
143		スイカズラ	マルバヤマシグレ	<i>Viburnum urceolatum</i> f. <i>brevifolium</i>	NT				固有変種	地生
144		キク	ホソバハグマ	<i>Ainsliaea fauriana</i>	NT	NT			固有種	地生
145			ヤクシマウスユキソウ	<i>Anaphalis sinica</i> var. <i>yakushimensis</i>	CR+EN	CR+EN	CR		固有変種	地生
146			ヤクシマノギク	<i>Aster yakushimensis</i>	CR+EN	CR+EN	CR		固有種	地生
147			ヤクシマコウモリ	<i>Cacalia hastata</i> var. <i>orientalis</i> var. <i>yakushimensis</i>	NT	NT	NT		固有変種	地生
148			ヤクシマヒヨドリ	<i>Eupatorium yakushimense</i>	VU	VU	VU		固有種	地生
149			ヤクシマニガナ	<i>Ixeris dentata</i> f. <i>parva</i>	NT				固有種	地生
150			コスギニガナ	<i>Ixeris yakushinensis</i>	VU	VU	VU		固有種	地生
151			ヒメキクタブラコ	<i>Myriactis japonensis</i>	VU	VU	EN		固有種	地生
152			シマコウヤボウキ	<i>Pertya yakushimensis</i>	CR+EN	CR+EN	EN		固有種	地生
153			ヤクシマヒゴタイ	<i>Saussurea nipponica</i> var. <i>yakushimensis</i>		CR+EN	CR	特国内	固有変種	地生
154			イッスンキンカ	<i>Solidago virgaurea</i> var. <i>minutissima</i>	CR+EN	CR+EN			固有変種	地生
155	単子葉植物	ホンゴウソウ	ヤクシマソウ	<i>Sciaphila yakushimensis</i>				国内		地生
156		ユリ	ヤクシマイトラッキョウ	<i>Allium virgunculae</i> var. <i>yakushimense</i>	CR+EN	CR+EN	EN		固有変種	地生
157			ヒュウガギボウシ	<i>Hosta kikutii</i>	VU	VU			固有変種	地生
158			ヤクシマチャボゼキショウ	<i>Tofieldia nuda</i> var. <i>yoshihana</i>	VU	VU			固有変種	地生
159		イグサ	ヤクシマズメノヤリ	<i>Lacina multiflora</i> var. <i>yakushimensis</i>	NT	NT			固有変種	地生
160		ホシクサ	ヤクシマホシクサ	<i>Eriocaulon hananogense</i>	CR+EN	CR+EN			固有種	地生
161		イネ	ヤクシマノガリヤス	<i>Calamagrostis masamunei</i>	CR+EN	CR+EN	VU		固有種	地生
162			ヤクシマヤダケ	<i>Pseudosasa owatarii</i>	NT	NT			固有種	地生
163		サトイモ	ヤクシマヒロハテンナンショウ	<i>Arisaema longipetiolatum</i> var. <i>yakushimensis</i>	CR+EN	CR+EN	CR		固有変種	地生
164			ヤクシマテンナンショウ	<i>Arisaema yakushimense</i>					固有種	地生
165		カヤツリグサ	ヤクシマスゲ	<i>Carex atrovirens</i>	CR+EN	CR+EN			固有変種	地生
166			ヤクシマカンスゲ	<i>Carex morrowii</i> var. <i>laxa</i>	VU	VU	NT		固有変種	地生
167			チャボカワズスゲ	<i>Carex omiana</i> var. <i>yakushimana</i>	CR+EN	CR+EN	CR		固有変種	地生
168		ラン	タイワンアオイラン	<i>Acanthophippium striatum</i>		EX	EX			地生
169			タイワンシヨウキラン	<i>Acanthophippium sylvaticum</i> var. <i>sylvaticum</i>	地絶	CR+EN	CR			地生
170			エンレイシヨウキラン	<i>Acanthophippium yamamotoi</i>	CR+EN	CR+EN	CR			地生
171			オキナワチドリ	<i>Amitostigma lepidum</i>	分重	NT	VU			地生
172			コウシュンシュスラン	<i>Anoectochilus koshunensis</i>			CR	国内		地生
173			タネガシマムヨウラン	<i>Aphyllorchis montana</i>	VU	VU	EN			地生
174			ヤクシマラン	<i>Apostasia nipponica</i>	CR+EN	CR+EN	EN			地生
175			マメツタラン	<i>Bulbophyllum drymoglossum</i>	VU	VU	NT			着生
176			ムギラン	<i>Bulbophyllum inconspicuum</i>	VU	VU	NT			着生
177			ミヤマムギラン	<i>Bulbophyllum japonicum</i>	VU	VU	NT			着生
178			タネガシマシコウラン	<i>Bulbophyllum macraei</i> var. <i>taniguchianse</i>	CR+EN	CR+EN	CR			着生
179			シコウラン	<i>Bulbophyllum makinoanum</i>	CR+EN	CR+EN	EN			着生
180			キリシマエビネ	<i>Calanthe aristulifera</i> var. <i>kirishimensis</i>	CR+EN	CR+EN	EN			地生
181			エビネ	<i>Calanthe discolor</i>	VU	VU	NT			地生
182			ダルマエビネ	<i>Calanthe fauriei</i>	CR+EN	CR+EN	VU			地生
183			ツルラン	<i>Calanthe furcata</i>	VU	VU	VU			地生
184			トクサラン	<i>Calanthe gracilis</i> var. <i>venusta</i>	VU	CR+EN	NT			地生
185			レンギョウエビネ	<i>Calanthe lyroglossa</i>	CR+EN	CR+EN	VU			地生
186			オナガエビネ	<i>Calanthe masuca</i>	VU	CR+EN	VU			地生
187			キエビネ	<i>Calanthe sieboldii</i>	VU	VU	EN			地生
188			ギンラン	<i>Cephalanthera erecta</i>	CR+EN	CR+EN				地生
189			タネガシマカイロラン	<i>Cheirostylis liukiensis</i>	CR+EN	CR+EN	VU			地生
190			シュンラン	<i>Cymbidium goeringii</i>	VU	NT				地生
191			アキザキナギラン	<i>Cymbidium javanicum</i> var. <i>aspidotrichifolium</i>	CR+EN	CR+EN	EN			地生
192			カンラン	<i>Cymbidium kanran</i>	CR+EN	CR+EN	EN			地生
193			ナギラン	<i>Cymbidium lancifolium</i>	NT	NT	VU			地生
194			マヤラン	<i>Cymbidium nipponicum</i>	CR+EN	CR+EN	VU			地生
195			ホウサイ	<i>Cymbidium sinense</i>	CR+EN	CR+EN	CR			着生
196			キバナノセッコク	<i>Dendrobium tosaense</i>	VU	VU	EN			着生
197			コカゲラン	<i>Didymoplexis siamensis</i>	CR+EN	CR+EN	CR			地生
198			ヒメヤツシロラン	<i>Didymoplexis pallens</i>	CR+EN	CR+EN	EN			地生
199			タシロラン	<i>Epipogium roseum</i>	VU	VU	NT			地生
200			オオオサラシ	<i>Eria corneri</i>	CR+EN	CR+EN	EN			着生
201			オサラシ	<i>Eria reptans</i>	VU	VU	VU			着生
202			イモネヤガラ	<i>Eulophia zollingeri</i>	CR+EN	CR+EN	EN			地生
203			タカツラン	<i>Galeola altissima</i>	CR+EN	CR+EN	CR			地生
204			ツチアケビ	<i>Galeola septentrionalis</i>	NT	VU				地生
205			ヤクシマヤツシロラン	<i>Gastrodia alba</i>				国内		地生
206			ハルザキヤツシロラン	<i>Gastrodia nipponica</i>	VU	VU	VU			地生
207			タケシマヤツシロラン	<i>Gastrodia takeshimensis</i>						地生
208			タブガワヤツシロラン	<i>Gastrodia uraiensis</i>				国内		地生
209			アキザキヤツシロラン	<i>Gastrodia verrucosa</i>	VU	CR+EN				地生
210			タブガワムヨウラン	<i>Lecanorchis tabugawaensis</i>					固有種	地生

表 20 環境省事業で選定された固有種・希少種等の一覧（緑塗：既確認 91 種）＜4/4＞

No.	分類群	科名	和名	学名	鹿児島 県RDB 2003	鹿児島 県RDB 2016	環境省 RL 2017	種の 保存法	固有種	地生/ 着生
211	単子葉植物	ラン	シライトシュスラン	<i>Goodyera hachijoensis</i> var. <i>leuconura</i>	分重	CR+EN				地生
212			ツリシュスラン	<i>Goodyera pendula</i>	VU	VU				着生
213			シマシュスラン	<i>Goodyera viridiflora</i>	VU	VU	VU			地生
214			ダイサギソウ	<i>Habenaria dentata</i>	VU	CR+EN	EN			地生
215			ムカゴトンボ	<i>Habenaria flagellifera</i>	NT	NT	EN			地生
216			タカサゴサギソウ	<i>Habenaria lacertifera</i>	CR+EN	CR+EN				地生
217			ヒメクリソラン	<i>Hancockia japonica</i>	CR+EN	CR+EN	CR	国内	固有種	地生
218			ムカゴソウ	<i>Herminium lanceum</i> var. <i>longicrure</i>	分重	NT	EN			地生
219			カゲロウラン	<i>Hetaeria agyokuana</i>	VU	VU	NT			地生
220			ヒメノヤガラ	<i>Hetaeria sikokiana</i>	VU	VU	VU			地生
221			ヤクシマアカシュスラン	<i>Hetaeria yakusimensis</i>	分重	NT	VU			地生
222			オキナワムヨウラン	<i>Lecanorchis cerina</i>	CR+EN	CR+EN	NT			地生
223			ムヨウラン	<i>Lecanorchis japonica</i>	VU	VU				地生
224			ウスギムヨウラン	<i>Lecanorchis kiusiana</i>	CR+EN	VU	NT			地生
225			クロムヨウラン	<i>Lecanorchis nigricans</i>	CR+EN	CR+EN				地生
226			ヤクムヨウラン	<i>Lecanorchis nigricans</i> var. <i>yakusimensis</i>	CR+EN	CR+EN	CR			地生
227			ムラサキムヨウラン	<i>Lecanorchis purpurea</i>	CR+EN	DD	DD			地生
228			アワムヨウラン	<i>Lecanorchis trachycaula</i>	CR+EN	CR+EN	CR			地生
229			ミドリムヨウラン	<i>Lecanorchis virescens</i>		CR+EN	CR			地生
230			ギボウシラン	<i>Liparis auriculata</i>	NT	VU	EN			地生
231			コゴメキノエラン	<i>Liparis elliptica</i>	CR+EN	CR+EN	CR	国内		着生
232			セイダカスズムシソウ	<i>Liparis japonica</i>	VU	VU				地生
233			ジガバチソウ	<i>Liparis krameri</i>	VU	VU				地生
234			キバナコクラシ	<i>Liparis nigrifolia</i> var. <i>saotenzanensis</i>	CR+EN	CR+EN	CR			地生
235			ササハラン	<i>Liparis odorata</i>	VU	CR+EN	EN			地生
236			チケイラン	<i>Liparis plicata</i>	分重	VU	VU			着生
237			ヒメフタバラン*	<i>Listera japonica</i>	NT	VU				地生
238			アオフタバラン*	<i>Listera makinoana</i>	CR+EN	CR+EN				地生
239			ツクシアリドオシラン	<i>Myrmechis tsukusiana</i>	CR+EN	CR+EN	CR			地生
240			フウラン	<i>Neofinetia falcata</i>	CR+EN	CR+EN	VU			着生
241			ムカゴサイシン	<i>Nervilia nipponica</i>	CR+EN	CR+EN	EN			地生
242			ヨウラクラン	<i>Oberonia japonica</i>	VU	VU				着生
243			オオバノヨウラクラン	<i>Oberonia variabilis</i>	DD	DD	CR			着生
244			イナバラン	<i>Odontochilus inabae</i>	CR+EN	CR+EN				地生
245			ガンゼキラン	<i>Phaius flavus</i>	CR+EN	VU	VU			地生
246			カクチョウラン	<i>Phaius tancarvilleae</i>	CR+EN	CR+EN	VU			地生
247			アマミトンボ	<i>Platanthera amamiana</i>	VU	VU	VU			地生
248			ヤクシマトンボ	<i>Platanthera anboensis</i>	VU	VU	CR		固有種	地生
249			ジンバイソウ	<i>Platanthera florentii</i>	CR+EN	CR+EN				地生
250			オオバノトンボソウ	<i>Platanthera minor</i>	VU	NT				地生
251			ヤクシマチドリ	<i>Platanthera ophrydioides</i> var. <i>amabilis</i>	VU	VU	EN		固有種	地生
252			ナガバトンボソウ	<i>Platanthera tipuloides</i> var. <i>linearifolia</i>	VU	VU	VU			地生
253			ツクシチドリ	<i>Platanthera yakumontana</i>	VU	VU	EN			地生
254			トキノソウ	<i>Pogonia japonica</i>	DD	CR+EN	NT			地生
255			ヤマトキノソウ	<i>Pogonia minor</i>	VU	VU				地生
256			マツゲカヤラン	<i>Saccolabium ciliare</i>	CR+EN	CR+EN	CR		固有種	着生
257			カシノキラン	<i>Saccolabium japonicum</i>	分重	VU	VU			着生
258			マツラン	<i>Saccolabium matsuran</i>	CR+EN	CR+EN	VU			着生
259			ナゴラン	<i>Sedirea japonica</i>	CR+EN	CR+EN	EN			着生
260			コオロギラン	<i>Stigmatodactylus sikokianus</i>	CR+EN	CR+EN	VU			地生
261			ヒメケンラン	<i>Tainia laxiflora</i>	VU	VU	VU			地生
262			ヤクシマネッタイル	<i>Tropidia nipponica</i>	CR+EN	CR+EN	EN			地生
263			ヤクシマヒメアリドオシラン	<i>Vexillabium yakushimense</i>	VU	VU	NT			地生
264			キバナノショウキラン	<i>Yoania amagiensis</i>	CR+EN	CR+EN	EN			地生
265			ショウキラン	<i>Yoania japonica</i>	CR+EN	CR+EN				地生
266			イシガキキヌラン	<i>Zeuxine flava</i>	VU	VU	VU			地生
267			キヌラン	<i>Zeuxine strateumatica</i>	VU	VU				地生

2. 今後の取組予定

令和6年度以降も、モニタリングが実施された箇所において管理目標の現状と評価を更新し、目標の現状把握や評価結果から注意すべき箇所を抽出する。